

# 一緒に考えよう、地球温暖化

1997年、国連気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）で採択され、地球温暖化に対し人類が中長期的にどのように取り組んでいくのかという道筋の第一歩が定められた「京都議定書」から25年。今年の11月6日～18日の期間、エジプトでCOP27が開催されました。温室効果ガス濃度を安定させて、人間活動による気候システムへの危険な干渉を防ぐために、日本をはじめ197の国と地域が参加したこの会議で、衝撃的な発言がなされます。

## 協力するか減じるか

これはCOP27での国連事務総長の演説の一部です。事務総長は「温室効果ガスの排出量は増え続け、地球の気温は上昇し続け、我々は後戻りできないところに近づいている。人類には選択肢がある。協力するか減じるかだ。」と訴え、各国に具体的な成果を出すよう求めました。

## 地球温暖化は人間のせい

2021年8月に公表された、国連気候変動に関する政府間パネルの報告書には、「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。大气、海洋、雪氷圏及び生物圏で、広範囲かつ急速な変化が現れて



いる。」と記載され、初めて「疑う余地がない」と断定的に表現されました。

実際、町でも近年大雨による水害が頻発しており、山ノ井川は4年連続で溢水し被害が発生しています。

## 気温上昇を1.5℃以内に抑える

前述の報告書を踏まえ、2021年11月に開催されたCOP26では「産業革命以前からの気温上昇を1.5℃以内に抑えることを目指して、努力を追求することを決意」することで合意されました。1.5℃以内に抑えることで、多くの気候変動の影響が回避できるとされていますが、今対策を打たなければ、2100年には最大4.8℃気温が上昇すると言われています。

環境省が2100年の日本をテーマに動画を作成しています。是非一度ご覧ください。

2100年 未来の  
天気予報『1.5℃  
目標』未達成・夏  
の動画QRコード



2100年 未来の  
天気予報『1.5℃  
目標』未達成・冬  
の動画QRコード



1.5℃の約束 いま  
すぐ動こう、気温上  
昇を止めるために  
の動画QRコード



## 早急な対策が不可欠

国連気候変動枠組条約事務局などがまとめた報告書によると、各国の今の対策だけでは、気温上昇の主要原因である温室効果ガスの排出量が減らず、今世紀末には、産業革命前からの気温上昇が約2.5度になる恐れがあるとあり、地球温暖化対策はまさに切迫したなしの所まで来ています。この状況を受け、日本もその取組みを加速させ、2020年10月、2050年までに温室効果ガスの排

国が表明した 2030 年度の温室効果ガスの削減目標

温室効果ガス排出量 (単位: 億 t-CO2)		2013 排出実績	2030 排出量	削減率	従来目標
エネルギー起源 CO2		12.35	6.77	※▲45%	▲25%
部門	産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%
	業務その他	2.38	1.16	▲51%	▲40%
	家庭	2.08	0.70	▲66%	▲39%
	運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%
	エネルギー転換	1.06	0.56	▲47%	▲27%

※非エネルギー起源 CO2 等、エネルギー起源 CO2 以外の項目を考慮していないため、2013 年度と比較した 2030 年度の温室効果ガスの削減率は 46% にならず。

出を全体としてゼロにする、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。

また、2021年4月には、2030年度に温室効果ガスを2013年度比で46%削減することを目指すと表明しています。

## 未来につけを残さない



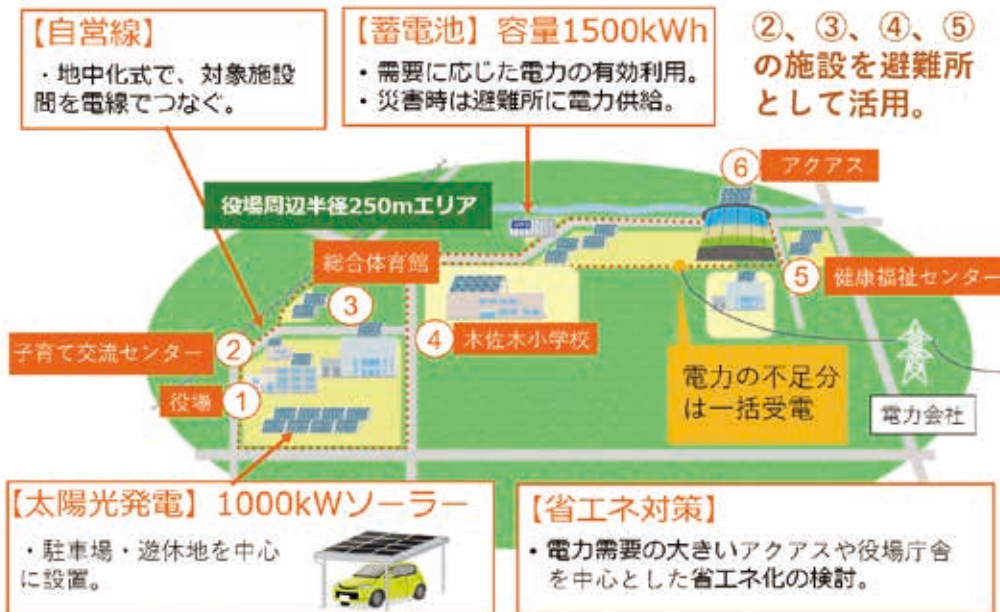
町は、地球温暖化による影響の深刻さを踏まえ、2019年に「気候非常事態宣言」を行い、地球温暖化対策に全力で取り組んでいくことを表明しました。町も地球温暖化を防止するための取り組みを加速させています。

## 大木町ゼロ・カーボン グリッド事業

2021年3月、町民の皆さんと一緒に策定した「大木町2050年温室効果ガス排出量実質ゼロロードマップ」では、まず2030年までに公共施設の使用電気を全て再生可能エネルギーで賄うことを目指しています。

その第一弾として進めているのが、「大木町ゼロ・カーボングリッド事業」です。この事業は、町の公共施設のうち、役場周辺（半径250m）に密集している6つの公共施設（避難所指定施設4つを含む）を自営線をつなぎ、太陽光発電設備と蓄電池を導入することで、再生可能エネルギーの自給率を高めると同時に災害時の適応能力の強化を実現するものです。

### 大木町ゼロ・カーボングリッド イメージ図（予定）



### 大木町ゼロ・カーボングリッド事業 事業スケジュール（予定）

2023年1月 ~ 2月	詳細設計
2023年5月 ~ 8月	設備導入・設置工事
2023年9月 ~ 10月	システムテスト、特定供給申請・許可
2023年10月 ~ 12月	実運用開始
~ 2043年12月	事業終了（維持管理・運営20年間）・町に譲渡

町の初期投資をできるだけ抑えるため、今回の事業は、SPC（町と民間企業が共同出資する特別目的会社）が設備を導入し、町はその費用を電気代として支払っていく計画としています。今後のスケジュールは次の通りです。

この事業により、次のような効果が見込まれます。

- ① 役場周辺公共施設使用電力の半分以上を太陽光発電で賄い、温室効果ガスの削減に大きく貢献し、電気料高騰などのリスクも軽減できます。
- ② 設備投資の3分の2を国の補助金で賄い、3分の1を20年間の電気料で償還する形をとることで、町の負担を小さくすることができます。
- ③ 自営線で各施設をつなぎ、電力会社からの受電を一括すること、蓄電池を組み合わせることで、有利な電力購入ができます。
- ④ 災害時の非常用電力として約2日分、太陽光発電を併用することで更に長期間、電力を利用できるようになり、避難所の空調やアクセスの温泉が利用可能になります。



## 今後、取り組みをさらに強化

今後、町では公共施設以外にも温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた取り組みを強化していきます。家庭や事業所に向けて、太陽光発電設備、蓄電池の支援を強化するなど、国の補助制度を活用して2027年度までに集中して事業を展開していく予定です。詳細は、内容が固まり次第、広報紙などでお知らせします。

## 最後に・・・

私たちが地球で生きていく限り、「地球温暖化」は切っても切り離せない重要な課題です。

私たちが人間だけでなく、地球に暮らす生物たちの子や孫、その先の世代に「つけ」を残さず、安心して暮らせる環境を残すことは、今を生きる人間の責務であり、私たち一人ひとりが行動を起こしていかなければなりません。

節電や節水、食品ロスの削減など、少し意識するだけで地球のためにできることはたくさんあります。

皆さん、未来の子どもの笑顔のために、アクションを起こし、力を合わせて地球温暖化を食い止めましょう。

ゼロカーボン  
アクション30  
QRコード



## 大木町ゼロ・カーボングリッド事業 町政懇談会の開催

町民の皆さんに町の取組みを知っていただくため、町政懇談会を開催します。

●日時（全ての日程において同内容です）

- ① 12月3日(土) 14～15時  
大木町総合体育館・こっぽーっとホール
- ② 12月13日(火) 19～20時  
大溝小学校・視聴覚室
- ③ 12月15日(木) 19～20時  
大莞コミセン
- ④ 12月18日(日) 10～11時  
大木町総合体育館・こっぽーっとホール

予約等不要。ご参加される際は直接現地にお越しください。

☎まちづくり課 環境グループ ☎0944-33-1120